

オオミズナギドリ

英名：Streaked Shearwater
学名：*Calonectris leucomelas*



▲繁殖地で巣穴の前に降りるつがいのオオミズナギドリ。島の林の中の地面に穴を掘って巣をつくる。

上面が暗色で、下面が白い大型のミズナギドリのなかま。日本では北海道から沖縄まで見られる最も普通な海鳥のひとつだよ。日本周辺の^{りとう}離島で6-11月に繁殖するよ。イワシやサバなどの魚が主な餌で、繁殖期には繁殖地から数百km離れた海域まで餌をとりに行くこともあるんだ。繁殖が終わると南へ渡って、赤道付近のニューギニア近海の海域で越冬するよ。



ウミスズメ

英名：Ancient Murrelet

学名：*Synthliboramphus antiquus*



▲海面に着水しようとするウミスズメ。飛ぶ速度は早く、時速50kmほどにもなる。

僕たちカムリウミスズメと同じ小型のウミスズメのなかまで、日本では北日本で少数が繁殖するよ。繁殖分布はアリューシャン列島から北アメリカ沿岸までと広いんだ。僕と同じで、ヒナは孵化して1-2日で親に連れられて海に出るんだ。翼を使って潜って小さい魚を食べるよ。海上で「ビュル、ビュル」とヒバリやスズメに似た声で鳴くんだ。



ハシボソミズナギドリ

英名：Short-tailed Shearwater
学名：*Puffinus tenuirostris*



▲太平洋を北に向かって渡るハシボソミズナギドリ成鳥の群れ（4月）。成鳥の方が早い時期に日本沿岸を通過する。

中型の全身暗色のミズナギドリのなかま
で、オーストラリア南部で繁殖して、春～
初夏に日本沿岸に渡来するよ。オキアミが
主な餌で、日本の近くを通過してベーリング
海を目指して渡り、そこで北半球の夏を過
ごすんだよ。5-6月にその年生まれた子ど
もが大量に漂着ひょうちやくすることがあって、最近で
は2016年にたくさん保護されたんだ。



コアホウドリ

英名：Laysan Albatross

学名：*Phoebastria immutabilis*



▲海上を飛ぶコアホウドリ。アホウドリの仲間は、風を利用してほとんど羽ばたかずに長距離を移動することができる。

翼を広げると2mくらいになる大きな海鳥だよ。日本では小笠原諸島おがさわらしょとうで数十ペアが繁殖するだけなんだけど、ハワイには大きなコロニーがあって、数十万羽が繁殖するよ。日本近海では本州以北で1年中見られるけど、冷たい水温の海域が好きで、夏にはより北上するんだ。あんまり深くは潜れないから、海面近くで魚やイカを食べるよ。



クロアジアホウドリ

英名：Black-footed Albatross
学名：*Phoebastria nigripes*



▲飛び立つクロアジアホウドリ。
アホウドリの仲間は、飛び立つ
ときに長い助走が必要。

コアホウドリとほぼ同じ大きさの海鳥だよ。日本では小笠原諸島や鳥島で数千羽が繁殖しているよ。日本近海では本州以北で1年中見られるんだ。成長すると尾の付け根に白い羽毛が生えてくるよ。生態はコアホウドリに似ているけど、より暖かい水温の海域が好きで、イカの死体などを拾って食べることが多いよ。



シロエリオオハム

英名：Pacific Loon
学名：*Gavia pacifica*



▲沖合で潜って魚を追いかけるシロエリオオハムの群れ。魚の群れの多い場所では大群になることがある。

嘴の短い小型のアビの仲間だよ。そっくりなオオハムはより大型で、嘴が長いよ。アビのなかまは、日本では全て冬にやってくるよ。シロエリオオハムは全国で一番普通なアビの仲間だ。翼で潜る僕と違って、大きな脚のみずかきを使って潜水し、魚を捕えて食べるよ。オオハムという名前は「魚食み＝うおはみ」が転じたものという説があるよ。



ウミネコ

英名：Black-tailed Gull
学名：*Larus crassirostris*



▲繁殖地で群れるウミネコ。
無人島の斜面の草地に巣を
作り、2卵を産んで育てる。

背の色の濃い中型のカモメで、尾羽に黒い帯があるのが特徴だよ。「ミャオ」とネコのよな声で鳴くことからその名前がついたんだ。日本で最も南で繁殖するカモメで、北海道から九州まで繁殖地があるよ。冬には南に渡り、国外ではフィリピンからも記録があるんだ。魚、人の出したゴミから昆虫まで、なんでも食べるよ。



カツオドリ

英名：Brown Booby
学名：*Sula leucogaster*



▲船についてくるカツオドリ。
カツオドリ科の鳥は、鼻の穴
がふさがっている。

南の海に分布する大型の海鳥だよ。ゆったりとした羽ばたきで飛ぶけど、魚を見つけると一気に海に飛び込んで魚を捕えるんだ。世界中の海に分布するけど、日本では、琉球列島から九州、小笠原諸島で繁殖するよ。大きな鳥山をつくって、カツオのぎょじょう漁場の目印となることからその名前がついたんだ。船に驚いて飛び出すトビウオやダツを狙って、船についてくることがよくあるよ。

